



【先週 1月9日～1月15日の外食の出来事】

■マクドナルド、昨年9.7%増 既存店売上高 宅配需要がけん引

2021年通年の既存店売上高は、前年比9.7%増えた。新型コロナウイルス下の巣ごもり需要を取り込み持ち帰り販売や宅配が好調だった。21年12月単月では前年同月比2.4%増で、18カ月連続のプラス。

■ハワイ発「ホノルルコーヒー」日本撤退 全13店舗が一斉閉店

「コナコーヒー」や「パンケーキ」などで知られるハワイ発のカフェチェーン「ホノルルコーヒー」の日本全店舗が1月6日をもって閉店した。フジオフードシステムが独占フランチャイズ権を獲得し、12年4月にお台場で1号店を出店。

■ゼネラル・オイスター、阪和興業などが5億増資 水産加工で協業

オイスターバーと牡蠣卸の株式会社ゼネラル・オイスターが、商社の阪和興業株式会社と資本業務提携を締結し、第三者割当増資で5億円を調達。増資は、ゼネラル・オイスターの株主の株式会社ネクスタの2社で引き受けた。

■すかいらーく、12月にコロナ前9割まで回復 アルコール99円で客数

株式会社すかいらーくホールディングスが、2021年12月の既存店売上高が114.4%増、2019年比で89.8%に回復した。年末まで実施していたアルコール99円キャンペーンにより、ガストやバーミヤンで売上が回復した。

■焼肉ライク、国内外で100店舗達成

「焼肉ライク」が、奈良・大和西大寺店をもって国内・海外併せて店舗100店舗に。国内は71店舗で、海外29店舗。海外は、インドネシア8店舗、シンガポール5店舗、タイ1店舗、中国2店舗、香港7店舗、台湾6店舗。

■コメダHD、38%増益 3～11月最終 出店・来客が好調

2021年3～11月期連結決算は、純利益が38%増の39億円だった。新型コロナウイルス対策のため営業の時短要請に従い、自治体から受け取った協力金など約3億円も利益を押し上げた。

■ジェイグループ、日本政策投資銀行から10億調達

ジェイグループホールディングスが、DBJ 飲食・宿泊支援ファンド投資事業有限責任組合を引受先として第三者割当により10億円の議決権のないB種株式を発行する。自己資本比率1.3%で早急な立て直しが必要だった。

■HUB、第3四半期(2021年3月～11月)の業績

2022年2月期 第3四半期(2021年3月～11月)の業績を発表。売上高12億5500万円(対前年同期比61.8%減)、営業損失9億1100万円(-)、経常損失9億3000万円(-)、四半期純利益4億3600万円(-)であった。

■銚子丸、41人にノロ食中毒 年末29日に発生

株式会社銚子丸の「すし銚子丸 大泉インター店」において、お客41人にノロウイルスを原因とする食中毒事故が発生したと発表した。2022年1月13日付で、練馬区保健所より同日から3日間の営業停止処分を受けた。

【お問合せ先】食百年の会 事務局 〒101-0041 東京都千代田区神田多町2-3-4 TEL 03-3255-3022 FAX 03-3255-3023 第622号